

自己点検・評価報告書の刊行にあたって

学習院大学では、平成 19（2007）年度に全学の自己点検・評価の作業を実施いたしました。学校教育法と施行令の改正に基づく新たな大学評価制度をまつまでもなく、本学では平成 8 年に自己点検を踏まえた『学習院大学の現状と課題』を刊行し、それ以降、今回が 4 回目の大規模な自己点検・評価作業となります。

今回はこの自己点検・評価報告書をもとに、新たな法令に基づく外部評価として、財団法人大学基準協会による平成 20 年度の認証評価を受け、「大学基準に適合していると認定する」という評価結果をいただきました。ご多忙のなか大学基準協会の評価委員として本学を担当いただいた先生方からは、さまざまな長所の指摘と並んで改善へのご助言をいただき、感謝申し上げます。ご助言は、今後における改善具体化のための貴重な参考として活用させていただく所存です。

序章にも記したところですが、世界の文明史的な状況が大きく変動するなかで、日本の大学のみでなく初等・中等・高等教育のそれぞれが、今一度みずからの教育の仕組と内容をしっかり見直し、新たな現状を踏まえた質の向上を図ることが求められています。本学でも、すでにさまざまなアクションは起こしておりますが、さらに教育と研究の両面でのいっそうの充実を追求して、改善の努力を進めてまいります。

また大学は、社会におけるみずからの位置をいっそう自覚的に認識することが求められています。本報告書は、広く社会に対して本学の現状を率直に説明する責任を果たすためのものであり、これが広く日本の諸大学における改善の動きへの一助となれば幸いですし、忌憚のないご意見を寄せていただければ誠に幸いに思います。

平成 21（2009）年 3 月

学習院大学学長 福井 憲彦